

第11回 国際観光 医療学会 学術集会

The 11th Annual Meeting of
The International Association of
Tourism Medicine

会期

2021年10月16日(土)

会長

吉田 謙一郎

(学校法人獨協学園 理事長・獨協医科大学 学長)

会場

獨協医科大学
創立30周年記念館

コロナ禍における
観光と医療の
取り組み

オンライン
開催



一般社団法人
国際観光医療学会
理事長 寺野 彰

運営事務局

株式会社勁草書房 コミュニケーション事業部内
〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1
Tel: 03-3814-7120 Fax: 03-3814-6904
E-mail: iatm11@keiso-comm.com
※入会をご希望される方は、<http://www.iatm.jp>よりお申込みください。

第11回 国際観光 医療学会 学術集会

The 11th Annual Meeting of
The International Association of
Tourism Medicine

コロナ禍における
観光と医療の取り組み

CONTENTS

- 2 会長挨拶
- 3 理事長挨拶
- 4 参加者・座長・演者へのご案内
- 6 プログラム
- 8 特別講演1
- 9 特別講演2
- 10 特別講演3
- 11 特別講演4
- 12 特別講演5
- 13 特別講演6
- 14 特別講演7

会長挨拶

吉田 謙一郎

第11回国際観光医療学会学術集会 会長
学校法人獨協学園 理事長
獨協医科大学 学長



今回、第11回国際観光医療学会学術集会の会長を担当させていただく獨協医科大学の吉田謙一郎でございます。第11回会長にご推挙頂き、当会の理事長である寺野彰先生をはじめ理事の先生方に厚く御礼申し上げます。光栄であると共に大きな責任を感じております。

本学会は、政府や行政が、観光医療に関しまして、医療関係者、法曹関係者、旅行会社や民間企業なども巻き込んで国際的に広がりを見せる中で、その領域における諸々の問題点の発掘やその対策、並びに学術的研究の発表・交流・協力を通して国際的な観光医療学の発展に寄与することを目的としています。

2010年10月に日光東照宮・客殿にて開催された第1回学術集会以来、毎年1回学術集会を開催してまいりましたが、残念ながら2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により学術集会の開催は延期となりました。本年も引き続き、感染拡大は予断を許さない状況が続いており、観光・医療ともに大変な状況下にあります。

本来ならば、会員の皆様には栃木に足を運んでいただき、栃木の観光やグルメも楽しんで頂きたいのですが、こうした状況を鑑み、今回はオンライン開催と致します。メインテーマを「コロナ禍における観光と医療の取り組み」とし、特別講演を7演題予定しております。講演をお引き受けくださった観光庁 星明彦様、運輸総合研究所 柏木隆久様、日光国立公園管理事務所 千田純子様、芸術文化観光専門職大学 高橋伸佳様、獨協医科

大学 小橋元副学長ならびに坂田信裕先生、シスメックス株式会社、株式会社メディカロイド 吉田智一様に深く感謝申し上げます。

オンライン上で様々な分野の方々が一堂に会し、国際観光医療における最新の学術的研究や実践の情報共有、そして今後の更なる発展的な取り組みの創出の場となれば幸いと考えております。

多くの会員の皆様のおオンラインでのご参加を心よりお待ちしております。

理事長挨拶

寺野 彰

国際観光医療学会 理事長
学校法人獨協学園 名誉理事長
獨協医科大学 名誉学長



昨年来のコロナ禍の中で、第11回国際観光医療学会が生みの親である獨協医科大学（吉田謙一郎会長）に於いて開催されることになり、心からの感謝とお祝いを申し上げます。

通常、インフルエンザを中心とするウイルス感染の流行は、冬季を中心として蔓延し、夏季になると、収束していくのであるが、このコロナウイルスの流行は季節を問わないという特徴を持っている。したがって、北半球、南半球を問わず、地球全体に年中流行するという厄介な性質を持つ。我が国もその例外ではなく、夏季オリンピック開催国であるという厄介な状況のもとで、本講執筆中も一日1300人という感染者数であり、増加し続けているのが実態である。このような先行き不透明な状況のもとで、On Lineで本学会を開催される獨協医科大学に敬意を表するものである。

現在の状況における観光は国際的にはほぼストップしており、学会の講演、発表もコロナ抜きには成り立たないように思われる。しかし、時期は不明であるが、ウイルスというものの性質上、必ず鎮静化するというのがこれまでの歴史である。更に驚異的なスピードで国際的に開発されたワクチンがかなりの有効性を示し、世界中で接種が実施されている。残念ながら我が国の医薬品行政は数歩の遅れをとっており、国産は当面無理としても、輸入品による接種が遅々としてではあるが実施されており、今年中あるいは今年度中に希望する全国民に接種完了の予定である。これによって、感染率はかなりの程度低下し、おそらく来年度から

は、国際的に観光が復活してくるようになると思える。観光リバウンド現象が起こり、国際的な観光ブームとなることを祈念するが、東南アジア、アフリカ、南アメリカ更にはインドなどでの蔓延は加速しており、共産圏の実態も不明な現在では楽観視はできない。

だが、このような事態においてこそ、学会を中心とした研究、対策が真剣に遂行されるのであり、コロナ収束後の準備が必須の現在である。このような状況での本学会の開催は、困難を伴うとおもわれるが、だからこそ国際的に注目されるのだと認識して、真に有意義な学会となることを期待する。

参加者へのご案内

第11回国際観光医療学会学術集会・第5回栃木県国際観光と医療学会学術集会は、オンライン開催（当日Live配信のみ。終了後のオンデマンド配信はなし）と致します。希望者は、獨協医科大学創立30周年記念館からも参加可能です。

参加につきましては、必ず事前参加登録（参加登録期間 9月2日（木）～10月8日（金））が必要となります。

▶ 1. 参加費

一般 2,000円 学生 無料

※領収書兼参加証は大切に保管してください。紛失の場合、再発行は行いません。

▶ 2. 参加方法

参加登録は、全てオンラインにて行います。

決済方法はクレジットカードのみとなります。

下記ホームページより参加登録システム画面にお進みいただき、ご登録ください。

<https://www.keiso-comm.com/iatm11/>

オンライン参加登録システムはPC、スマートフォン、タブレットに対応しております。

登録が完了すると、登録されたメールアドレスに確認メールが送られますので、大切に保管してください。

万が一、確認メールが届かない場合は事務局（iatm11@keiso-comm.com）にお問合せ下さい。

2-1. オンライン視聴でご参加の場合

オンライン参加の場合は、Zoomよりご視聴いただけます。

2021年10月14日（木）13時頃に、ZoomのURLをご登録のE-mailアドレス宛にご案内する予定であります（現地参加希望の方にもご案内いたします）。

ご視聴方法については、ご登録のE-mailアドレス宛にご案内いたします。

2-2. 学会会場からご参加の場合

事前に各自検温のうえ、体温が37.5度未満であることをご確認のうえ、ご来場ください。

37.5度以上の発熱の方や、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）などの症状がある方はご来場をお控えください。

感染防止の為、必ずマスクをご準備、ご着用ください。なお、マスクは会場内ゴミ箱にはお捨てにならず、お持ち帰りください。

各所に消毒液を配置しますので、ご利用ください。

密閉空間を避けるため、会場の扉は可能な限り開放しております。密集、密接を避けるため、会場の座席には、隣り合って着席されないよう、お願いします。

来場者は、参加受付にてネームカードをお渡しいたします。会場内では必ず、ご着用ください。

※会場での参加申込みは受けつけておりません。オンライン参加登録をご利用ください。

詳細につきましては、ホームページをご参照ください。

座長・演者へのご案内

登壇者の先生方には、事前に運営事務局より、参加方法（会場から参加／オンライン参加）についてお問合せをいたします。アンケートへのご協力をお願いいたします。

▶ 座長の先生方へ

1. 会場にお越しになる場合

ご担当セッション開始予定時刻の 15 分前までに、会場内前方の進行席にお声がけいただき、「次司会席」にご着席ください。

2. オンラインにて参加される場合

WEB 会議システム「Zoom」をご利用いただきます。

ご担当セッション開始予定時刻の 30 分前までに事前に、別途ご案内する URL より Zoom にログインをお願いします。

3. 質問の受付方法について

参加者からの質問は、会場と WEB の両方から受け付けします。

現地参加の場合：会場のフロアマイクを通してご質問いただきます。

オンライン参加の場合：QA ボックスに質問を入力していただきます。

3-1. 質問の確認方法について

現地参加の場合

司会席に QA 用のモニターを用意いたします。QA ボックスに質問がありましたら、質問を読みあげてください。

オンライン参加の場合

質問が入力されると、ツールバーの Q&A に未回答の質問数が表示されますので Q&A をクリックし「質問と回答」の画面を表示し、質問を読みあげてください。

▶ 演者の先生方へ

1. 会場にお越しになる場合

ご発表の 30 分前までに、講演会場までお越しください。

ご発表は、司会の指示に従って、時間厳守にてお願いいたします。

ご発表時に使用できる機材は、PC1 台（Windows）のみとなります。

2. オンラインにて参加される場合

ご発表セッションの開始 30 分前に、指定の Zoom ミーティングにご入室ください。

（指定の Zoom ミーティング URL と接続時間は、事前に運営事務局よりご案内いたします）

3. 資料作成時のご注意

PowerPoint 資料は、ワイド画面（16:9）にてご作成ください。

発表データはできるだけ大きな文字でご作成ください。オンラインで視聴する際、画質にばらつきが出るため、小さな文字はつぶれて見えづらくなる可能性があります。

PROGRAM

第5回栃木県国際観光と医療学会学術集会

「with コロナ時代の日光地区における観光支援と観光客患者の救急連携医療」

会長:中元 隆明 獨協医科大学 日光医療センター 統括管理者

10:00～10:05	5分	開会の辞	中元 隆明 獨協医科大学日光医療センター 統括管理者
10:05～10:25	20分	特別講演 1	座長 木村 安志 上都賀都市医師会 会長 「with コロナ時代の日光地区における観光支援」について 演者:上中 哲也 日光市副市長・地域医療連携推進法人 日光ヘルスケアネット 代表理事
10:25～10:45	20分	特別講演 2	座長 新沢 敏章 新沢外科医院 院長 国際観光都市Nikkoの基幹病院に相応しい医療サービスを提供するために 演者:安 隆則 獨協医科大学日光医療センター 病院長
10:45～11:05	20分	特別講演 3	座長 関根 啓一 医療法人 耳鼻咽喉科関根クリニック院長 Doctor car医の権限強化についての提言 演者:熊谷 真知夫 社団医療法人 明倫会今市病院 院長
11:05～11:25	20分	特別講演 4	座長 伊藤 勇 医療法人千風会 いとうクリニック院長 観光都市日光における地域ケアミックス病院の役割 救急医療～地域包括ケアと新型コロナウイルス感染症診療の両立 演者:杉田 義博 公益社団法人 地域医療振興協会 日光市民病院 管理者
11:25～11:30	5分	閉会の辞	安 隆則 獨協医科大学日光医療センター 病院長

※第5回栃木県国際観光と医療学会学術集会は、事前に録画した映像を配信します

第11回国際観光医療学会学術集会
「コロナ禍における観光と医療の取り組み」

会長：吉田 謙一郎 学校法人獨協学園 理事長・獨協医科大学 学長

13:00～13:05	5分	開会の辞	吉田 謙一郎 学校法人獨協学園 理事長・獨協医科大学 学長
13:05～13:35	30分	特別講演 1	<p>座長 清水 和幸 株式会社足利銀行 取締役頭取</p> <p>アフターコロナへ向けた観光政策と地域の医療・観光資源の活用について</p> <p>演者:星 明彦 観光庁 観光地域振興部 観光資源課課長</p>
13:35～14:05	30分	特別講演 2	<p>座長 黒本 淳之介 株式会社栃木銀行 代表取締役頭取</p> <p>コロナ禍における観光の取り組み</p> <p>演者:柏木 隆久 一般財団法人 運輸総合研究所 主席研究員・理事長補佐</p>
14:05～14:35	30分	特別講演 3	<p>座長 上中 哲也 日光市副市長</p> <p>日光国立公園満喫プロジェクトのあゆみとこれから</p> <p>演者:千田 純子 環境省関東地方環境事務所日光国立公園管理事務所 所長</p>
10分休憩			
14:45～15:15	30分	特別講演 4	<p>座長 山口 馨右 株式会社フレンド 会長</p> <p>コロナ禍における観光と医療の取り組み～観光業界からみる新たな観光医療～</p> <p>演者:高橋 伸佳</p> <p>兵庫県立大学法人芸術文化観光専門職大学准教授 (株式会社JTB総合研究所ヘルスツーリズム研究所長、 特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構業務執行担当理事)</p>
15:15～15:45	30分	特別講演 5	<p>座長 屋嘉比 康治 埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科 特任教授/埼玉医科大学かわごえクリニック院長</p> <p>コロナ予防から考える「公衆衛生の意味」</p> <p>演者:小橋 元 獨協医科大学副学長 公衆衛生学講座教授</p>
10分休憩			
15:55～16:25	30分	特別講演 6	<p>座長 木下 芳一 兵庫県立姫路循環器病センター・製鉄記念広畑病院病院長</p> <p>Society5.0と医療のスマート化(動画)</p> <p>演者:坂田 信裕</p> <p>獨協医科大学先端医学科学センター スマート医療研究部門長/ 情報基盤センター長・教授</p>
16:25～16:55	30分	特別講演 7	<p>座長 岡村 吉隆 和歌山県立医科大学 名誉教授</p> <p>「hinotori™サージカルロボットシステム」による手術のデジタルトランスフォーメーション</p> <p>演者:吉田 智一</p> <p>シスメックス株式会社 取締役常務執行役員/ 株式会社メディカロイド 取締役執行役員</p>
16:55～17:00	5分	閉会の辞	寺野 彰 国際観光医療学会理事長 学校法人獨協学園 名誉理事長・獨協医科大学 名誉学長

座長 清水 和幸 株式会社足利銀行 取締役頭取



アフターコロナへ向けた観光政策と 地域の医療・観光資源の活用について

星 明彦 観光庁 観光地域振興部 観光資源課課長

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、我が国の観光は厳しい状況にあり、政府としては、昨年12月3日に策定した「感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン」に基づき、感染拡大防止策の徹底を大前提に、当面の観光需要の回復を担う日本人国内旅行の需要を強力に喚起しつつ、その上で、インバウンドについても国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国・地域から回復を図ることで、現在掲げている2030年の訪日外国人旅行者数6,000万人、旅行消費額15兆円等の目標達成に向け取り組みを行っている。

また、「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定）の行動計画である「観光ビジョン実現プログラム2020」（令和2年7月観光立国推進閣僚会議）においては、新たな観光資源の開拓として、地域の医療・観光資源の活用に取り組むこととしている。

当庁では、令和元年度から厚生労働省と連携し、地域

の観光資源及び医療を組み合わせた滞在プランの造成や地方公共団体、医療事業者及び医療機関の連携による受入体制構築のための実証事業を行ってきた。今年度は、地域のニーズや成熟度及び目指す姿により、地域が取り組む内容が異なることから、注力するテーマを明確にした地域の計画提案を基にコーチングを合わせた実証事業を行っていく。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、旅行形態の変化や旅行者の意識変革が予想される中で、今後のインバウンド需要の回復に向けて、3密の回避など、安全に配慮した上で、地方公共団体、医療機関及び民間企業等を含めた訪日外国人の受入体制が整った地域づくりを行い、地方誘客や旅行消費額の拡大を進めることを目指しているところである。

本講演では、アフターコロナへ向けた我が国の観光政策、現在の訪日外国人観光の状況、地域の医療・観光資源の活用等について述べる。

Profile

平成10年4月	運輸省（現国土交通省）入省
平成17年6月	欧州連合日本政府代表部二等書記官
平成20年7月	国土交通省自動車局環境政策課課長補佐
平成22年4月	独立行政法人交通安全環境研究所（現自動車技術総合機構）企画室長
平成23年4月	国土交通省自動車局環境政策課自動車使用適正化対策官
平成25年7月	国土交通省自動車局安全政策課事故防止対策推進官
平成26年7月	国土交通省航空局航空ネットワーク部首都圏空港課東京国際空港環境企画調整室長
平成29年7月	海上保安庁総務部政務課企画官
令和元年7月	自動車局総務課企画室長
令和3年4月	観光庁観光地域振興部観光資源課長（現職）

座長 黒本 淳之介 株式会社栃木銀行 代表取締役頭取



コロナ禍における観光の取り組み

黒本 隆久 一般財団法人 運輸総合研究所 主席研究員・理事長補佐

観光は、人口減少社会に突入した日本において、成長戦略の柱であり、地方創生の切り札である。世界全体の国際観光旅客数は、2019年に2012年の約1.4倍となるなど、観光は世界の成長産業であるが、日本のインバウンド観光は、2019年には、2012年の約4倍の規模となり、訪日外国人消費額は、4.8兆円に達し、世界全体の成長基調を遙かに上回る成長を果たして来た。この背景には、日本には潜在的に多様な魅力的な観光資源が存在することに加え、ビザの戦略的緩和、空港など交通インフラやCIQ体制、訪日観光客向け消費免税制度、多言語表記といった受入環境整備、魅力的な観光コンテンツの造成、日本政府観光局の訪日プロモーションといった様々な政策的対応や関係者の努力があった。

コロナ禍により、国内外の観光需要は大幅に減少し、日本の観光産業は苦境に立たされている。しかし、我が国の観光資源の魅力が失われたわけではない。ウイルスの変異によりコロナパンデミックは長引いているが、いずれパンデミックの収束とともに世界の観光交流が回復することは国際的な共通認識である。

そのような認識のもと、観光の段階的な回復を図るべく、次の施策

が実施されている。第一に、コロナ禍における感染拡大防止の徹底を前提とした、観光産業の雇用の維持、事業の継続を図るための国内旅行需要活用策の実施である。第二に、将来の観光の本格的回復を見据えた魅力と収益力、経営力を高める観光地域再生策の実施である。第三に、気候、自然、食、文化を要素とする各地の観光資源を磨き上げ、その価値を深く体感、体験、理解し楽しむことができるしくみを創る観光コンテンツ造成策の実施である。第四に、多言語化やWIFIの整備、キャッシュレス化、バリアフリー化等、ストレスフリーで快適な旅行環境を実現する観光受入環境整備策の実施である。第五に、国内外の感染状況等を見極めつつ、コロナ禍を経た旅行需要の変化に対応して段階的に行う国際観光回復策の検討、実施である。

コロナ後の観光の復興に当たっては、従前と同じ観光の姿を漫然と回復させていくのではなく、従来から認識されてきた観光の諸課題に正面から取り組み、地域の課題解決に貢献する観光を目指すべきである。地域住民や地域に関心をもちまた応援をする人々の協働のもと、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する、観光を活用した持続可能な地域経営を進めることが求められている。

Profile

平成元年4月	運輸省入省
平成18年7月	国土交通省北海道運輸局企画観光部長
平成19年7月	独立行政法人国際観光振興機構北京事務所長
平成22年7月	国土交通省観光庁国際観光政策課長
平成25年7月	新関西国際空港株式会社 総務人事部長
平成28年6月	国土交通省海事局総務課長
平成29年7月	独立行政法人国際観光振興機構（日本政府観光局） 理事
令和元年7月	国土交通省東京航空局長
令和2年7月	国土交通省航空局交通管制部長
令和3年9月	現職

座長

上中 哲也 日光市副市長

日光国立公園満喫プロジェクトの あゆみとこれから

千田 純子 環境省関東地方環境事務所日光国立公園管理事務所 所長



環境省では、2016年(平成28年)に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づく施策として「国立公園満喫プロジェクト」を実施してきました。日光国立公園では、「日光国立公園ステップアッププログラム2020」を作成し、国内外から多くの観光客を呼び込む取組を実施してきました。訪日外国人来訪者数50万人、宿泊者数25万人を目指す目標を掲げ、訪日外国人観光客の受入環境整備、新たなツアー開発や海外向けプロモーション等多岐にわたる取組がなされてきました。

一方課題としては、都心から2時間程度でアクセスできる好立地であることから、日本人を含む観光客の約7割が日帰りでの訪問となり、日光の自然や文化の奥深さが十分提供できていないことがあげられます。また、月別の観光客入込数及び宿泊者数は、5月の連休や夏休み、紅葉シーズンに集中する一方、冬期に落ち込む傾向があることや、利用者数・宿泊者数ともに微減の傾向がみられました。

このような状況を踏まえ、「受入態勢整備」「観光消費額の増加」「閑散期を中心とした誘客の促進」「交通の利便性向上」「情報発信・案内力強化」「自然環境・景観の保全」を取り組むべき課題として据えた「日光国立公園ステップアッププログラム2025」を、本年3月に策定しました。

日光国立公園の観光利用についても、新型コロナウイルス感染拡大が大きな影響を与えており、現時点では観光客入込数や宿泊者数を明確に掲げての目標設定は難しい状況にあります。よって、withコロナ期・afterコロナ期においては、密を避ける観点からも、利用者数・宿泊者数という数の目標設定や訪日外国人に係る目標設定は参考値とし、自然体験・文化体験等のアクティビティの活性化や宿泊の促進により消費額を底上げすることを目標としました。日光国立公園でこそ得られるプレミアムな体験が提供できる態勢を整え、今後の観光需要の回復に備えたいと考えています。

Profile

- 平成8年 環境庁(当時)入庁。富士箱根国立公園の箱根地域担当として現地勤務。
- 平成10年 本省国立公園課へ異動。その後、野生生物関係を含む自然環境行政を担当し、本省の他、新潟、名古屋、新宿御苑等で勤務。
- 令和2年10月より現職。

座長 山口 馨右 株式会社フレンド 会長



コロナ禍における観光と医療の取り組み ～観光業界からみる新たな観光医療～

高橋 伸佳

兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学准教授
(株式会社JTB 総合研究所ヘルスツーリズム研究所長、
特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構業務執行担当理事)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、「観光」の取り組みが否定されるような状況が続いている。

国内観光業界においては、新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン等による新たなサービス対応が徹底されてきた。政府からは「旅のエチケット」などにより新たな観光の楽しみ方を観光客に提示した。ただ、「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」が発出される中、「新型コロナの感染防止を最優先し、近場で短期間の旅行、自家用車での移動、密を避け、他の旅行者や住民との接触を極力避ける旅先や宿泊施設を選ぶ傾向」(JTB 総合研究所, 2021) が強まるなど、本格的な復活には至っていない。こうした中、かつてないレベルで観光と医療の連携が議論されるようになってきた。例えば、新潟県妙高市は観光地域づくり法人の連携体制に地域医療を位置づけ、感染リスクを軽減する観光地モデルに組みはじめた。

一方、国際的な移動制限が続く中、国際観光業界は依

然としてストップしている。実際、2021年1～5月について、コロナ前の2019年と比較すると訪日外客数で-99.4%、出国日本人数で-97.9%となっている(日本政府観光局, 2021)。ワクチン接種の普及等によって状況が改善していくことが期待されるが、往來の復活は2023年以降であるとの想定から業界は動いている。

他方、観光庁が2020年度に立上げた「上質なインバウンド観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会」にて「医療インバウンド」が議論に上った。上質な旅行先としての日本の魅力は、アートやスノーリゾート等への関心とともに「医療」が高い関心を集めているという見解だ。厚生労働省は、医療目的での外国人患者は対象とはしていないものの、「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル(改訂第3.0版)」を更新した。都市部、主要観光地以外の地域でも外国人患者の受診が増加することを想定した体制構築が言及された。

今、医療観光は新しい展開を見せている。

Profile

観光・旅行×医療・健康領域の融合による、健康社会の実現に向けた新たな領域・分野の創造を専門とする。JTB 総合研究所とともに日本観光経営学会・理事、特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構・業務執行担当理事、兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学・准教授を兼務している。

経済産業省近畿経済産業局「健康文化産業の見える化」委員(2008年)、大阪市「健康予防医療プロジェクト」コーディネーター(2008～2009年)、国土交通省観光庁「ニューツーリズムの顧客満足度調査」委員(2011年)、内閣府「沖縄独自の医療情報基盤を活用した実践的医療サポート及び医療情報活用産業」委員(2015年)、栃木県「とちぎヘルスケア産業推進懇話会」委員(2016年～2019年)、東京商工会議所「健康づくり・スポーツ振興委員会」委員(2016年～)、東京消防庁「救急車適正利用等の促進に関する有識者会議」委員(2017年)、経済産業省「医療技術・サービス拠点化促進事業」研究会委員(2017年)、

GoTo トラベル「コロナ対策全施設調査に関するアドバイザー」(2020年)など健康・医療系の公職を歴任。

座長

屋嘉比 康治

埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科 特任教授 /
埼玉医科大学かわごえクリニック院長

コロナ予防から考える 「公衆衛生の意味」

小橋 元

獨協医科大学副学長 公衆衛生学講座教授

新型コロナウイルス COVID-19 感染の世界的流行は未だに収束の気配を見せていない。その影響は、医療や介護福祉などの生命に関連する領域はもちろん、経済なども含めた国民生活全体へも及んでいる。同時に、「今まで大して気にせず当たり前のように出来ていたことの大切さ」や「人として人が幸せに生きるために当然行うべきだったこと」などに気づかされる貴重な機会にもなっている。今後、山積する多くの課題を考慮しながら、with コロナ、post コロナ時代の「新しい生活様式」に盛り込み実践していく必要がある。

一方、今回のコロナ禍では早い段階から、「公衆衛生」という言葉がマスコミを賑わしている。公衆衛生は、1920年の米国のウインスロウによれば、「組織化された地域社会の努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的および精神的健康と能率の推進を図る科学であり技術」と定義されている。これを易しい言葉で言い換えると「すべての人々の健康、安全と安心を

まもる社会の取り組み」ということになる。医師法の第1条（医師の役割）でも「医師は、医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。」と謳われていることから、「公衆衛生の向上・増進が医師の最終目的」とも言える。

獨協医科大学では、今回のコロナ禍を機に、対面授業とオンデマンド/オンライン講義を上手に組み合わせながら、一層の成果を挙げられるような取り組みを進めている。しかし、教育現場の役割の基本にあるのは、やはり「人が育とうとする力を存分に伸ばす場の提供」という点であろう。

本講演では、本学における公衆衛生学教育の実践を紹介しながら、post コロナ時代に求められる「公衆衛生」の取り組みを考えてみたい。今後の国際観光医療における前向きな取り組みに繋がるきっかけの1つとなれば幸いである。

Profile

1989年北海道大学医学部卒業後、同産婦人科、公衆衛生学、予防医学、放射線医学総合研究所 ゲノム診断研究グループ遺伝統計研究チームリーダー、研究倫理・企画支援室長を経て、2015年獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授。2018年学長補佐（産学官連携・研究支援担当）、2020年より現職。日本産科婦人科学会専門医、日本人類遺伝学会臨床遺伝学専門医、労働衛生コンサルタント。社会医学系専門医協会理事、日本社会医学協会理事、日本疫学会理事、日本公衆衛生学会理事、日本衛生学会理事、日本循環器予防学会理事、日本健康教育学会理事、日本妊娠高血圧学会代議員、日本産業衛生学会代議員。

座長 木下 芳一 兵庫県立姫路循環器病センター・製鉄記念広畑病院病院長



Society 5.0 と医療のスマート化

坂田 信裕 獨協医科大学先端医学研究センター スマート医療研究部門長 /
情報基盤センター長・教授

近年、人工知能やロボット、あるいはIoTやVR等の様々なテクノロジーが急速に発展してきている。また、それらのテクノロジーを活用する上で基盤となる通信環境も進化を続けており、5GやWiFi 6に代表されるように、高規格な無線環境の提供も始まっている。これらのような技術革新が続く中、社会も現在までの情報社会から、人工知能等の新たなテクノロジーを積極的に活用していくスマート社会、「Society 5.0」の考え方に沿った形へと向かいつつある。

とくに「Society 5.0 新たな価値の事例(医療・介護)」(内閣府)が示すところとして、医療情報や日々の生理計測データ等のビッグデータを人工知能によって解析し、その結果を元に、日常の場面でロボット等を用い、利用者の生活における種々支援や負担軽減等を行っていくことが描かれている。これは、社会全体がスマート化していく中で、医療や普段の健康管理や生活においても、高度にテクノロジーを活用していく形態へと

変化していくことを示している。

今回の講演では、そのような新たなテクノロジーが展開し、社会変革が起きていく中で、具体的にどのようなことを考え、準備し、取り組んでいくことが必要となっているのかについて触れていきたい。また、一つテクノロジーの例として、ソーシャルロボットを取り上げ、なぜ生活の中でロボットの利用が考えられているのかについて触れ、ユーザーインターフェイスとしての面白さや、ロボットの存在感についても紹介したい。さらに、ソーシャルロボットは、ネットワークを介してクラウド上のAI等との連携も可能であることから、言語が異なる人々をも繋ぐツールとしても利用可能であり、国際観光医療の領域での活用についても、十分期待できるものと考えている。今回、Society 5.0と医療のスマート化の今後の展開や、ソーシャルロボット活用の可能性について、本学会の参加者の皆様と一緒に考えていくきっかけにできればと考えている。

Profile

獨協医科大学 情報基盤センター 教授・センター長 / 先端医学研究センター スマート医療研究部門長 (現職)

北里大学卒業後、防衛医科大学校、米国コロンビア大学、ミズーリ大学、ワシントン大学、信州大学医学部附属病院を経て、2010年に獨協医科大学へ。ICT活用教育、ロボット等の新たなテクノロジーの教育・医療・福祉領域への導入など、ICT複合領域の研究を手がけている。地域包括ケアのための未来型テクノロジー研究会理事、日本遠隔医療協会理事、医療系eラーニング全国交流会世話人、ロボットビジネス支援機構(RobiZy)顧問、日本ロボット学会ロボット考学研究専門委員会メンバー等。

座長 岡村 吉隆 和歌山県立医科大学 名誉教授

「hinotori™ サージカルロボットシステム」による
手術のデジタルトランスフォーメーション吉田 智一 シスメックス株式会社 取締役常務執行役員 /
株式会社メディカロイド 取締役執行役員

近年、外科手術で身体への負担を軽減する低侵襲手術が進展し、手術支援ロボットのニーズが拡大している。わが国は世界屈指のロボット大国であり、産業用ロボットは世界市場の半分以上のシェアを持っているが、国産の手術支援ロボットは上市されてこなかった。こうした中、産業用ロボットのリーディングカンパニーである川崎重工業株式会社と医療分野に幅広いネットワークを持つシスメックス株式会社が共同出資し、2013年に医療用ロボットメーカーであるメディカロイドを設立した。2015年から開発着手、2020年に手術支援ロボット「hinotori™ サージカルロボットシステム」が国産初の製造販売承認を取得しました。

手術を実施するオペレーションユニットのアームは、ヒトの腕

オペレーション
ユニットサージョン
コックピットビジョン
ユニット

に近いコンパクト設計でアーム同士の干渉を低減し、円滑な手術が可能となることが期待されます。執刀医が操作するサージョンコックピットは、人間工学的な手法で設計され、執刀医の負担を軽減してストレスフリーな手術をサポートします。ビジョンユニットは、内視鏡カメラから得られた高精細な画像を3Dで映し出し、執刀医と助手のコミュニケーションをサポートします。

ロボットの性能を活かし、安全で効率的な手術の運用支援や手技伝承支援を目的として、シスメックスとメディカロイドが共同で「Medicaroid Intelligent Network System」(以下「MINS」)を開発しています。MINSはプラットフォームにコンテンツを搭載することで様々なサービスを提供でき、リアルタイムに遠隔サポートする機能は実装済みです。今後はAI解析やシミュレーションへの活用、コロナ禍で高まる遠隔に対するニーズに応えるため国内だけでなく、グローバルを見据えた検討を始めています。シスメックスとメディカロイドは、手術のデジタルトランスフォーメーションを強力に推進します。

Profile

1995 (平成 7) 年 3 月	岡山大学大学院 自然科学研究科卒業	2020 (令和 2) 年 4 月	上席執行役員
1995 (平成 7) 年 4 月	国立循環器病研究センター 客員研究員		中央研究所長 兼 MR 事業推進室長
1998 (平成 10) 年 4 月	ノバルティスファーマ株式会社入社	2021 (令和 3) 年 4 月	常務執行役員
2000 (平成 12) 年 6 月	シスメックス株式会社入社		R&D・インキュベーション・MR 事業副担当
2003 (平成 15) 年 3 月			兼 MR 事業本部長
~ 2005 (平成 17) 年 4 月	M.D.Anderson Cancer Center, Breast cancer medical oncology	2021 (令和 3) 年 6 月	取締役 常務執行役員
	客員研究員		R&D・インキュベーション・MR 事業副担当
2011 (平成 23) 年 4 月	研究開発企画本部 R&D 戦略部 部長		兼 MR 事業本部長
2013 (平成 25) 年 4 月	中央研究所 副本部長		株式会社メディカロイド
	株式会社メディカロイド 取締役		取締役 執行役員 (現任)
2015 (平成 27) 年 4 月	中央研究所 所長 (本部長)		
2017 (平成 29) 年 4 月	執行役員		
	中央研究所長 兼 MR 事業推進室長		

第5回 栃木県

国際観光と

医療学会

学術集会

With コロナ時代の日光地区における
観光支援と観光客患者の救急連携医療

CONTENTS

- 3 会長挨拶
- 4 特別講演1
- 5 特別講演2
- 6 特別講演3
- 7 特別講演4

会長挨拶

中元 隆明

第5回栃木県国際観光と医療学会学術集会 会長
獨協医科大学 日光医療センター 統括管理者



この度、第5回栃木県国際観光と医療学会学術集会を、第11回国際観光医療学会学術集会と合同開催の形で開催させていただきます。

新型コロナウイルス感染症により観光業界は世界的に大打撃を受けております。本邦においても同様ですが、ワクチン接種の普及や懸命な感染への取組により最近では国内旅行者はわずかですが増加傾向にあります。又、東京オリンピック・パラリンピックも辛うじて開催できました。しかしながら観光が通常の状態に戻るのはまだまだ遠い先のことと危惧されます。ここ国際観光地日光においても観光客の激減により経済は相当落ち込んでおります。

さて、日光市においては人口減少に高齢化が問題であり、この地域に合った医療体制を再構築する取り組みが始まり、2019年4月、地域医療連携推進法人「日光ヘルスケアネット」が発足しています。これはさらに進む人口減少・少子高齢化時代を見据えて医療・健康面から日光市を支える体制になると期待されています。このような時期に長期化する観光業界の疲弊は日光市の死活問題になります。地域住民のみならず観光客にとっても安心・安全な医療体制作りは経済活性化のためにも急務であります。

以上の背景から日光市において国内外を問わず、医療者からの観光支援や観光客患者に対する救急医療の体制作りは観光客増加のための大きな支援となります。

今回、「with コロナ時代の日光地区における観光

支援と観光客患者の救急医療」をテーマにして日光ヘルスケアネットに参画し、日光市二次救急医療病院であります3病院から特別講演を頂き、これら講演を通して日光地区の観光医療を守り延びては経済の活性化に繋がる体制づくりの基盤になればと期待されます。特別講演をご紹介しますと、日光ヘルスケアネットからは上中哲也代表理事講演による with コロナ時代の日光地区における観光支援について、獨協医科大学日光医療センターからは安 隆則病院長講演による国際観光都市 Nikko の基幹病院に相応しい医療サービスを提供するために、社団法人今市病院からは熊谷眞知夫院長講演による Doctor car 医の権限強化についての提言、公益社団法人地域医療振興協会日光市民病院からは杉田義博管理者講演による観光都市日光における地域ケアミックス病院の役割 救急医療～地域包括ケアと新型コロナウイルス感染症診療の両立、以上の計4題であります。

今後の日光市における観光の復活と発展に少しでも役立つ学会になればと思っております。

尚、講演形式は Zoom ウェビナーとさせていただきます。

座長 木村 安志 上都賀都市医師会 会長

「with コロナ時代の日光地区における 観光支援」について

上中 哲也 日光市副市長・地域医療連携推進法人
日光ヘルスケアネット 代表理事



世界に誇れる観光資源を有する日光市であります。近年、全国的な課題である人口減少と少子高齢化が進行し、保健医療・福祉、観光など、様々な分野で多大かつ深刻な影響が懸念されています。

このような中、日光ヘルスケアネットは、医療機能の分担と業務の連携により、効率的で質の高い医療提供体制の構築を目指し、専門職の共同募集、医療機器共同利用システムの構築、医療機能の分担・業務の連携に係る計画の策定等に取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症が問題となった後は、管理者・病院長会議等を開催し、地域外来・検査センターの設置、感染症回復患者の受入体制等について協議してきました。

一方、観光入込客数は、東日本大震災によって大きく落ち込んだ後、日光東照宮の400年式年祭関連事業やインバウンドの伸長等の効果もあり、順調に回復していましたが、感染症の感染拡大により首都圏を中心に緊急事

態宣言が発出され、令和2年の観光入込客数は、東日本大震災をさらに下回る約834万人に落ち込みました。

このため、観光産業の回復に向け、「GO TO トラベル」等の施策に呼応し、グリーンスローモビリティ実証事業や2DAYパスポート発行事業等の独自事業を展開するとともに、首都圏からの修学旅行等のキャンセルが多く発生したことから、県内小中学校の日光への教育旅行等に対する助成を行いました。

また、「with コロナ時代」に向け、新たな生活様式に対応した効果的なプロモーションへの転換を図るため、“新しい日光”を発信するブランディング「NEW DAY, NEW LIGHT. 日光」をスタートし、首都圏向けに観光プロモーションの展開を始めたところです。

今後も、引き続き、感染防止対策に万全の措置を講じながら、地域の観光資源を磨き上げ、一日でも長く滞在していただける魅力ある観光地づくりを推進してまいります。

Profile

昭和57年4月	旧藤原町役場入庁
平成25年4月～平成26年3月	日光市総務部財政課長
平成26年4月～平成28年3月	日光市総務部総務課長
平成28年4月～平成30年3月	日光市地域振興部長
平成30年4月～平成30年5月	日光市行政経営部長
平成30年5月～	日光市副市長
平成31年4月～	日光ヘルスケアネット代表理事

座長

新沢 敏章 新沢外科医院 院長

国際観光都市 Nikko の基幹病院に 相応しい医療サービスを提供するために

安 隆則 獨協医科大学日光医療センター 病院長



獨協医科大学日光医療センターは2006年、日光連山のふもとの風光明媚な水の美味しい国際観光都市日光に、珪肺労災病院から移譲をうけて誕生いたしました。当センターは、医科大学付属病院としての特性を生かし、かつ国際観光都市日光の基幹病院として、最新の医学技術と最先端の医療機器を備え、中規模病院の小回りの良さを利用して、地域が求める急性期医療と高度医療、そしてリハビリテーションを切れ目なく提供します。観光に訪れる皆様にとっても、地域住民の皆様にとっても、急病やケガをしたときに、すぐに診てもらえる頼りになる病院が近くにあることは大きな安心材料です。急性期医療に全力で取り組み、「救急車を断らない病院」として国内外から日光を訪れた観光客、栃木県民、周辺医療機関、そして行政から頼りにされる施設を目指します。

2016年、日光医療センターは栃木県で10番目の災害拠点病院としての指定を受けました。災害拠点病院とは、災害対策基本法に基づいて都道府県知事が指定する病院

で、県内や近県で災害が発生し、通常の医療体制では被災者に対する適切な医療を提供する事が困難な場合に、都道府県知事の要請により、傷病者の受け入れや医療救護班(DMAT)の派遣を行う病院です。自然豊かな日本は、自然災害の多い国でもあり、観光医療でもこの点を避けて通れません。

日光医療センターの特色の一つである人間ドック(温泉宿泊型人間ドック)は、国内外の利用者の皆様から大変満足していただいております、今後も継続します。2019年に設立された全国8番目、北関東初の地域医療連携推進法人「日光ヘルスケアネット」を通して、観光医療につきましても、医療機関相互の連携を密にして、患者様に「日光で医療を受けてよかった」と満足して帰っていただけるようにしていきます。当センターは2023年1月に新築移転いたしますが、病院運営方針の骨子は変わりません。新病院では新型の感染症対応病室も複数用意し、国際観光都市 Nikko をバックアップしてまいります。

Profile

職歴

1986年-1988年 沖縄県立中部病院にて初期研修(内科)
1988年-1991年 国立循環器病センター内科レジデントとして後期研修
1991年 自治医科大学さいたま医療センター総合1循環器科シニアレジデント
1994年 自治医科大学さいたま医療センター総合1循環器科助手
1996年-1999年 カリフォルニア大学サンディエゴ校留学(循環器科および生体工学科 research fellow、1998-1999年生体工学科 visiting bioengineer)
2006年 自治医科大学さいたま医療センター総合1循環器科講師

2007年

琉球大学大学院感染制御学講座臨床薬理学分野
准教授、自治医科大学非常勤講師

2010年8月

琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経
内科学准教授

2012年4月

獨協医科大学日光医療センター 心臓・血管内
科学内教授

2014年4月

獨協医科大学日光医療センター 心臓・血管内
科主任教授

2019年4月

獨協医科大学日光医療センター病院長

研究分野：末梢性動脈疾患の薬物運動療法、微小循環、超音波造影法、
循環器臨床薬理学

座長 関根 啓一 医療法人 耳鼻咽喉科関根クリニック院長



Doctor car 医の権限強化についての 提言

熊谷 真知夫 社団医療法人 明倫会今市病院 院長

はじめに

観光医療においては、患者搬送と受け入れ病院側との呼吸のあった連携が不可欠です。

1. 症例提示の目的

AMI 疑い患者の受け入れに際して、専門病院側は循環器の専門医という立場だけではなく、心臓救急医としての立場から再検証をお願い致します。

即ち、当該搬送患者が結果的には AMI でなかったとしても、とりあえず AMI を否定する目的で受け入れるという心臓救急救命医としての役割です。

このような場合、現場の搬送医側には、この病態はもし AMI であれば、直ちに治療を行わなければ救命できない、という前提があります。それで、第一に循環器専門病院に搬送して診断を確定し、AMI であれば直ちにカテ治療、そうでなければ、それから再考する、という手順です。そして、救命のために一刻を争う状況下では、この手順が最速である、という思いがあります。この現場での搬

送医の判断を、受け入れ病院側は尊重して頂きたいのです。

事後の症例検討会では受け入れ病院側との思惑に、いくつかの食い違いがあり、この時の医療センターの結語は、情報が錯綜する中では、「医師同士の直接のやり取りが必要である、」となっています。この結語を敷衍すれば、一次診断医である Doctor car 医の判断を尊重することになると思われます。

考察

1. 山岳地を控える当地区では搬送途中で通信不能となり、間接的なやり取りではお互いの真意が伝わりにくい事がある。

2. 1. の事項を踏まえて、救命という目的をより効果的に達成するためには、Doctor car 医の判断を最優先する事が重要である。

結語

山岳地を控える当地区で観光医療を行なってゆくにあたり、日光ヘルスケアネットとして考慮すべき問題提起を行なった。

Profile

昭和 43 年 宇都宮高校卒業
昭和 52 年 日本医科大学卒業
昭和 57 年 明倫会今市病院 外科勤務
昭和 62 年 明倫会今市病院 院長

座長 伊藤 勇 医療法人千風会 いたうクリニック院長

観光都市日光における地域ケアミックス病院の役割 救急医療～地域包括ケアと新型コロナウイルス感染症診療の両立



杉田 義博 公益社団法人 地域医療振興協会
日光市民病院 管理者

公益社団法人地域医療振興協会日光市民病院は旧日光市に位置し、日光市の二次救急輪番に参加する救急病院であるとともに、医療療養病床と介護老人保健施設を併設する、救急医療から介護までを提供するケアミックス施設である。地域医療連携推進法人日光ヘルスケアネット（日光HCN）の中では独協医科大学日光医療センター、今市病院と並ぶ急性期3病院の一つとされる。さらに栃木県西地区における唯一の第二種感染症指定医療機関であり、2020年2月のクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号乗客を皮切りに2021年7月までに軽症～中等症の新型コロナウイルス感染症患者130人余りを受け入れた。積極的に発熱者の診療を担当された今市病院ははじめ日光HCN各機関の協力により入院治療に専念しており、死亡1例、重症化や合併症のため6例を高度医療機関に搬送した以外は全員が軽快退院した。高齢者が多数在院する当院で新型コロナウイルス感染

症患者を診療するにあたっては、徹底した院内感染予防対策とITの活用など様々な工夫を行った。

新型コロナウイルス感染拡大の中、当院は救急医療を含めた外来、入院、検査、老健での通所リハビリテーション、入所ケア等を制限することなく継続してきた。しかし全国的な感染の拡大に伴う受診抑制や緊急事態宣言等により患者数は減少し、特に観光客を中心とする県外居住者の受診が大きく減少した。中禅寺湖畔に位置し、当法人が公設民営方式で運営する奥日光診療所は地域住民に加えて観光客、宿泊客に医療を提供することが大きな役割だが、2020年度、2021年度ともに観光客、特に小児の受診数が大幅に減少した。新型コロナウイルス対策と経済活動の両立は極めて困難な課題だが、当院にとって日光地区の医療と介護を守ることと並んで地域経済の中心である観光業を支えることも重要な役割と考えている。

Profile

1991年	自治医科大学卒業 熊本県内の離島・山間地の診療所、病院勤務
2000年	地域医療振興協会 伊豆大島等で勤務
2006年	東京北社会保険病院（現東京北医療センター）総合診療科
2008年	介護老人保健施設さくらの杜 施設長
2011年	台東区立台東病院 副管理者
2013年	介護老人保健施設千束 施設長
2015年	台東区立台東病院 病院長
2019年	日光市民病院 管理者

第 11 回国際観光医療学会・第 5 回栃木県国際観光と医療学会学術集会開催にあたり、
次の団体様よりご協賛を頂戴いたしました。
ここに銘記し、そのご厚情に感謝申し上げます。

広告掲載団体一覧

株式会社アインファーマシーズ
アステラス製薬株式会社
株式会社関電工
協和キリン株式会社
シスメックス株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
武田薬品工業株式会社
ディーブイエックス株式会社
栃木放射線株式会社
パラマウントベッド株式会社
株式会社フレンド
有限会社ヘルシーケア開発

協賛・団体一覧

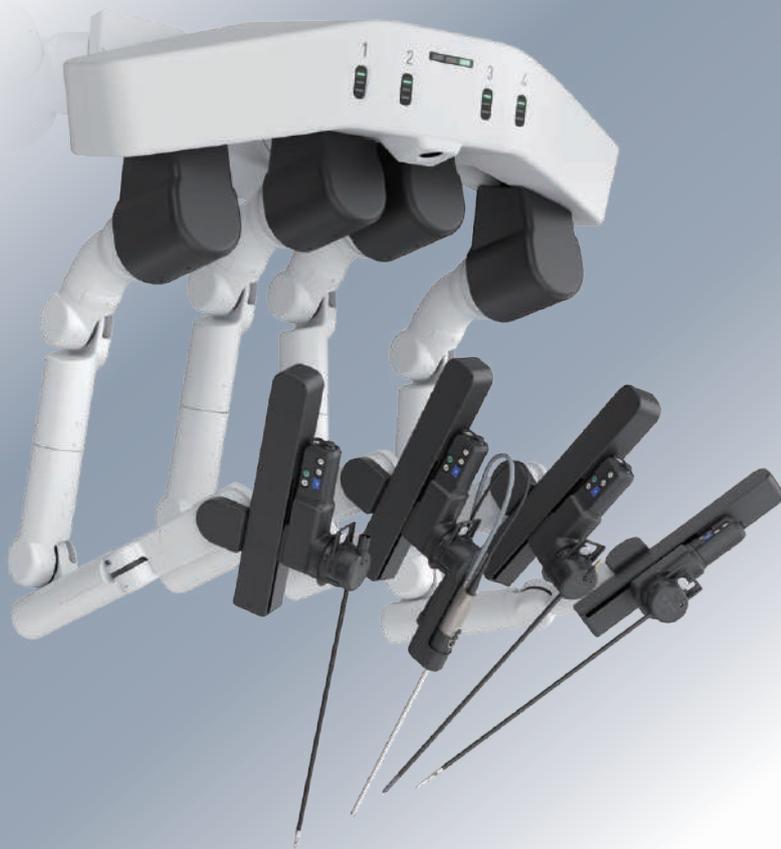
株式会社アイバ
株式会社足利銀行
アズビル株式会社
アルファクラブ株式会社
栗津造園株式会社
株式会社オカムラ
株式会社邦商
株式会社 TOKAI
東武建設株式会社
株式会社栃木銀行
獨協医科大学
株式会社獨協メディカルサービス
株式会社日本マイクロニクス
株式会社丸和商会

50 音順 (2021 年 9 月 27 日現在)

2021 年 10 月
第 11 回国際観光医療学会学術集会
会長 吉田 謙一郎
第 5 回栃木県国際観光と医療学会学術集会
会長 中元 隆明



hinotori サージカルロボットシステム



目指したのは
人に見え、
人を支える存在



販売名：hinotori サージカルロボットシステム 承認番号：30200BZX00256000
*外観、仕様等については改良のため予告なしに変更することがあります。

総代理店

シスメックス株式会社

本 社 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 〒651-0073

(お問い合わせ先)

支 店	仙 台 022-722-1710	北関東 048-600-3888	東 京 03-5434-8550	名古屋 052-957-3821
	大 阪 06-6337-8300	広 島 082-248-9070	福 岡 092-411-4314	
営 業 所	札 幌 011-700-1090	盛 岡 019-654-3331	長 野 0263-31-8180	新 潟 025-243-6266
	千 葉 043-297-2701	横 浜 045-640-5710	静 岡 054-287-1707	金 沢 076-221-9363
	京 都 075-255-1871	神 戸 078-251-5331	高 松 087-823-5801	岡 山 086-224-2605
関東エリア地域総	鹿 児 島 099-222-2788			
	03-5434-8565			

製造販売元

株式会社メディカロイド

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町一丁目 6-5
国際医療開発センター 6F



注：シスメックスの承認番号は掲載しておりません。
詳細は www.smm.com の E0101058004 を参照。
Note: Scope of sites and activities may depending on the standard.
For details, refer to the E0101058004 at www.smm.com

Copyright © Medicaroid Corporation All Rights Reserved.

www.sysmex.co.jp

X線CT装置

SOMATOM Drive

Drive precision for all

www.siemens-healthineers.com/jp



SIEMENS
Healthineers

全身用X線CT診断装置 SOMATOMドライブ 認証番号: 221AIBZX00003A01



RAQUOS

■ 高精度な造影剤注入で、鮮明な血管造影による
診断をサポート

■ 使いやすさと高機能を徹底追求

自動造影剤注入装置

RAQUOSインジェクションシステム

販売名: RAQUOSインジェクションシステム
一般的名称: 多相電動式造影剤注入装置
医療機器認証番号: 302ADBZX00087000
管理医療機器: 設置管理医療機器・特定保守管理医療機器

販売名: RAQUOSディスプレイザルキット
一般的名称: 針なし造影剤利用輸液セット
医療機器認証番号: 303ADBZX00066000 管理医療機器

製造販売業者

DVx ディービーエックス株式会社

〒171-0033 東京都豊島区高田2-17-22目白中野ビル5階 <https://www.dvx.jp>

まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。



www.astellas.com/jp/

as human, for human
PARAMOUNT BED

Smart Bed System™

スマートベッドシステム™

ベッド上の患者状態をリアルタイムで把握するとともに、
電子カルテなどと情報連携するシステムです。

1 患者の変化を見逃さず、 迅速な対応が可能に。

各センサで把握した睡眠・覚醒・呼吸数・心拍数などの情報を集約し、ベッドサイド端末に表示。

2 スタッフステーションにて 患者の見守りをサポート。

ステーション端末にて、各患者のバイタルサインや離床などの情報を一覧表示。

3 ベッドサイドで バイタルサインを簡単入力。

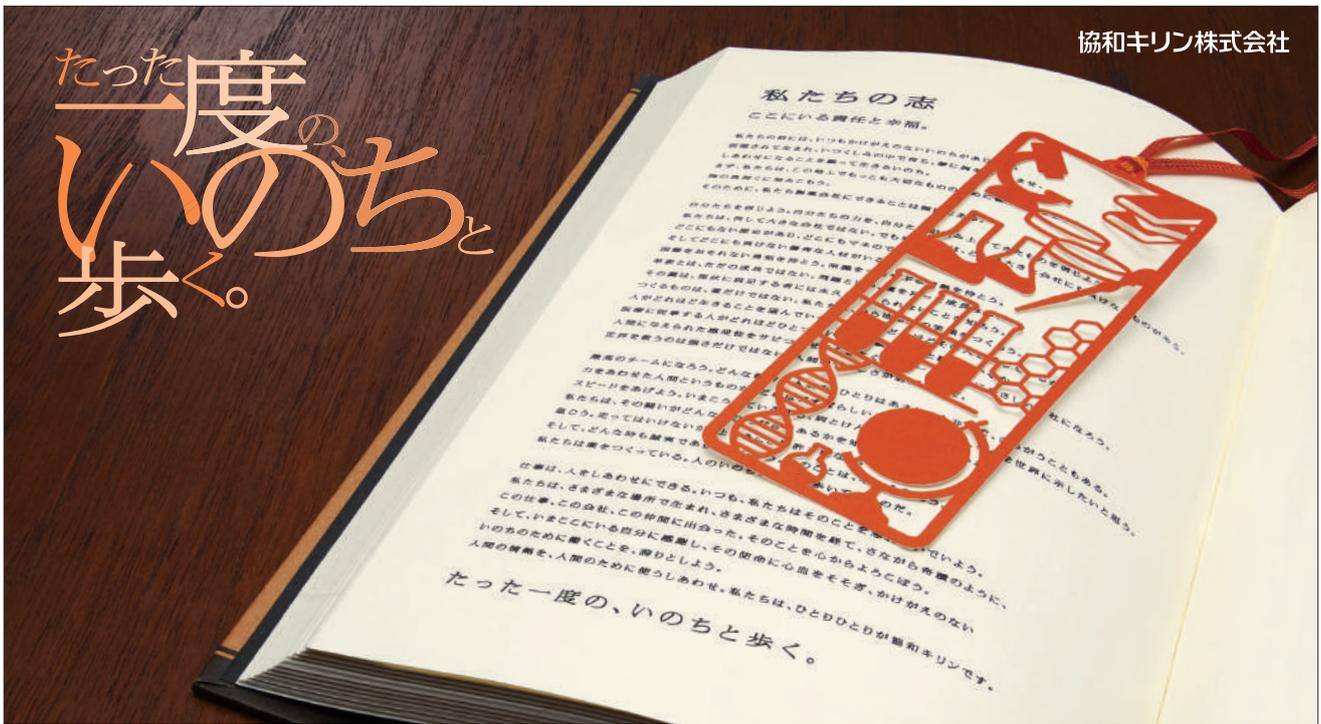
通信機能付バイタルサイン測定機器をベッドサイド端末の受信部にタッチすることで数値を入力。

パラマウントベッド株式会社 さいたま支店 〒336-0967 さいたま市緑区美園3-23-1 TEL:(048)878-0100

[パラマウントベッド](#)

[検索](#)

たった一度の
いのちと
歩く。



KYOWA KIRIN

私たちの志 検索

2019年7月作成



自然のパワーで
あなたの美容と健康づくりを
お手伝いします。

多種多様な商品が溢れる
このご時世において、
本当に確かなものを
手にとってもらいたい。
そんな方々のお悩みを
解決するお手伝いが
できる商品をご提供します。



有限会社ヘルシーケア開発

〒323-0012 栃木県小山市羽川524-2 <http://www.healthycare-k.com>

0120-49-0938



想いがつなぐと、
笑顔もつながっていく

フレンドグループは調剤薬局と在宅介護を通じ医療福祉を担う一員として、
患者様・ご利用者様により健康で安心安全に生活できる環境づくりを目標とし、
地域密着の企業人として人と生活を結ぶ医療と介護を目指します。

・調剤薬局 22店舗(栃木／東京／埼玉)

処方せん受付/OTC・介護用品販売/在宅服薬指導/無菌調剤室

・在宅介護 43事業所(栃木／茨城)

デイサービスセンター/居宅介護支援センター/グループホーム
小規模多機能型施設/ショートステイ/福祉用具貸与・販売

<所在地>

本社 栃木県小山市羽川524-2 (TEL)0285-23-2228
表参道オフィス 東京都港区北青山3-10-6・1F
BEST ASIAN FRIEND (Thailand)/BANGKOK,CHIANGMAI

<グループ企業>

ヘルシーケア開発(健康食品販売)
シルバーケアサービス(介護事業)



私たちがつなぐもの

それは、だれかの安心、だれかの笑顔、だれかの願いだから、
あたりまえの日常を、ささえつづけるために
つなごう、想いを、明日を。

ひとりひとりが、未来を灯す。

KANDENKO

〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 <https://www.kandenko.co.jp/>

Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



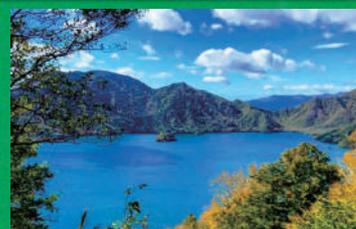
栃木放射線株式会社

Tochigi Radioactive Rays K.K.

宇都宮市戸祭元町2番9号 代表tel 028-621-4511
tochigi.t-rad.co.jp

放射線機器及び医療情報システムの販売を中心に事業を展開し活動しております。

訪日外国人へ日本の医療情報提供～受診までサポート
国際医療コーディネーターサービス事業



医療ツーリズム
医療・一般通訳



北関東国際医療
通訳アカデミー

国境を言葉と医療で繋ぐ

シーセブンマーケティングは栃木放射線の提携協力会社です。

シーセブンマーケティング株式会社



いつもの一日が幸せだと思えるのは、
大切な人たちが笑顔でいられるから。
一人ひとりに寄り添っていこう。

わたしの仕事は、この街の健康につながっているから。

薬局の未来をはじめよう。

あなたの街でいちばん身近に 業界のリーディングカンパニーへ
調剤薬局 **1,065** 店舗 調剤薬局売上全国 **No.1**^{*}
(2021年4月期末)

 **アイングループ**

※店舗数・売上高 業界ナンバーワン/[医薬品産業ランキング2021] (株式会社ドラッグマガジン)より